

貝類

大量に増えてパイプやフィルターを詰まらせる厄介者

発行／2018年3月 農林水産省農村振興局農村環境課

■カワヒバリガイ 特 緊



殻長2～3cm、最大4cmほど
形は細長い三角形。色は黄緑色がかった黒褐色と黄土色が混じる。
足糸という繊維状物質を分泌して付着基盤(コンクリート・岩・石等)に固着する。
浮遊幼生の時期があり、この時期は0.3mm以下ととても小さい。

■台湾シジミ 総



大きく分けて2タイプの色がある。



殻長1～2cm、最大2.5cmほど
表面が黄色～黄褐色で、内面は白色で側歯は紫色のものと、表面は緑がかった黄褐色で内面は全体的に紫色のものもある。

このような被害が出ます!!



水門の管理障害!

生貝が機場のスクリーンに固着して通水障害を引き起こす。



通水障害!

死貝が流下してパイプなどを詰まらせて通水障害を引き起こす場合もある。



管理労力が増大!



排泥口からの除去。

大量に発生した場合、末端の水路に貝が溜まり、水田の取水栓の詰りを引き起こす。

特定外来生物のカワヒバリガイは生きたまま運搬できないため、駆除後の処理に手間が生じる。

特 (特定外来生物) は、外来生物法により、飼育・栽培、運搬、保管、野外に放つ・植える・撒くなどが禁止されています。

緊 (緊急対策外来種) は、生態系被害防止外来種リストのカテゴリ区分で、対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある外来種、

総 (総合対策外来種) は、総合的に対策が必要な外来種です。

詳しくは、日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html> をご覧ください。

● 生息環境 (どんな場所から増えて行くか！)

物陰や暗所、泥の中で密かに生息する

■ カワヒバリガイ

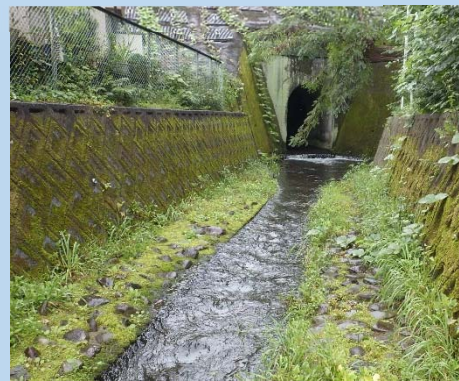


水路内の壁面に固着する。



石の裏など接着面の多い環境(隅)、暗い環境、流れの裏側を好む。

■ タイワンシジミ



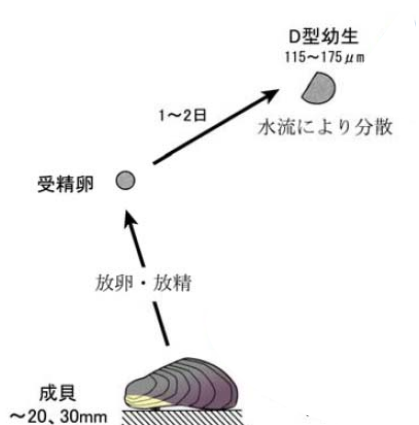
砂泥中に生育する。

● 繁殖方法 (このように増えて行く！)

浮遊幼生が下流に流れて増える

■ カワヒバリガイ

- 成貝から放出された卵が受精し、幼生が水流によって分散する。

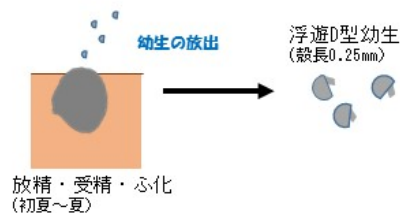


- 人目に付きにくい、パイプラインや石の裏などの暗所に固着して溜まり、群体を作る。

- 群体になることで、さらに受精の確率が上がる。

■ タイワンシジミ

- 成貝は放出された他の貝の精子を吸引し、体内で卵を受精させ、ふ化して放出された幼生が水流によって分散する。



● 対策 (これらについて心得よう！)

- 幼生の着底を未然に防ぐ 固着防止資材の活用。
- 水路等の干し出し 乾燥状態による駆除。
- 少ない内に取り除く 掻き取りによる除去。重機による除去。



人力での除去作業 (とても大変！)

重機による除去



本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768
東北農政局農村環境課 022-221-6256
関東農政局農村環境課 048-740-0514

北陸農政局農村環境課 076-232-4533
東海農政局農村環境課 052-223-4631
近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417
九州農政局農村環境課 096-300-6436
沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652

農林水産省農村振興局農村環境課 03-3502-6091